

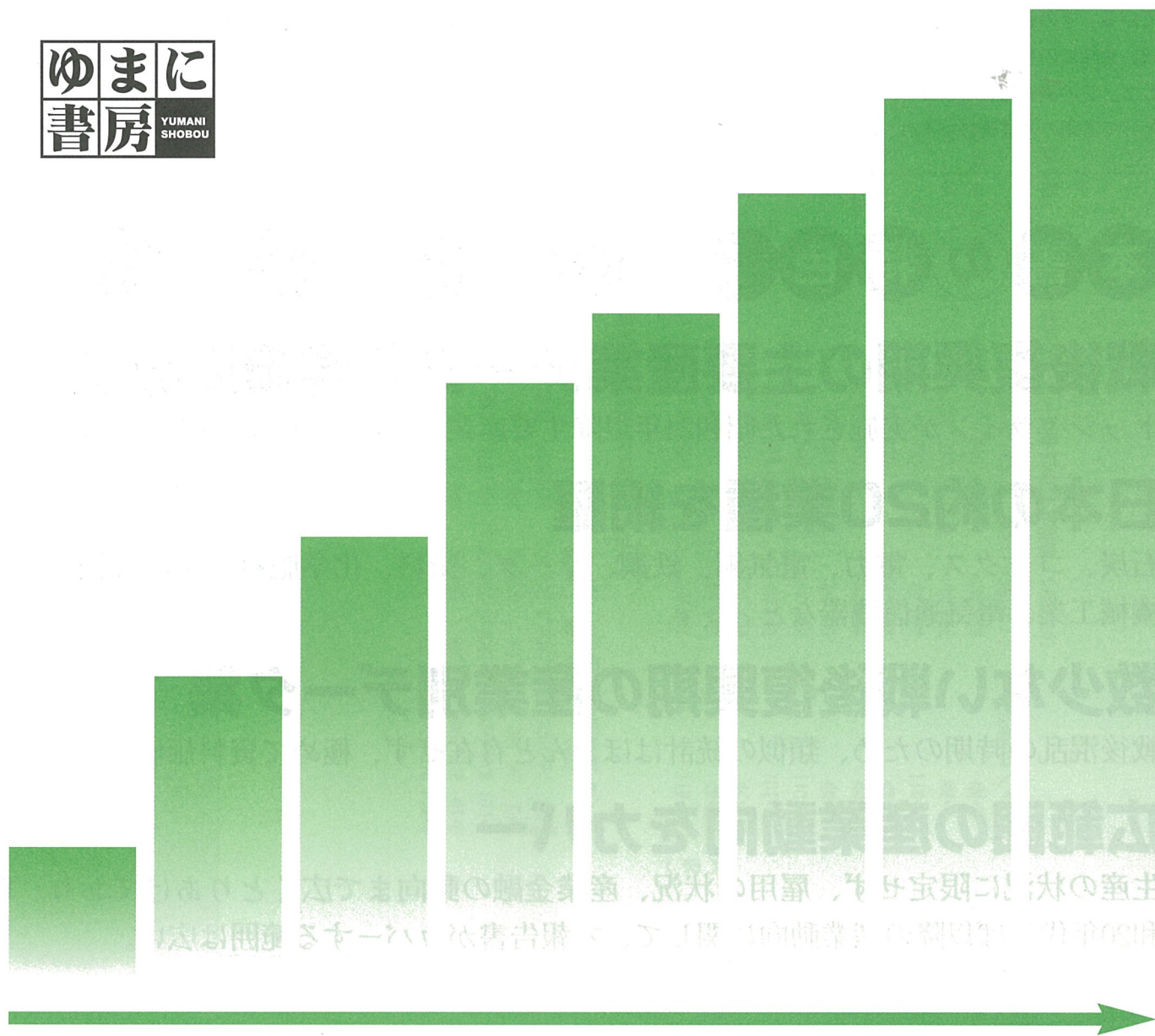
戦後復興期 主要産業の実態

全14巻

●監修● 中村青志 東京経済大学経営学部准教授

通商産業省通商企業局 [編]

ドッジ・ラインが実施された昭和24年から同29年まで、
主要産業部門20件に関する詳細動向記録。
高度経済成長の基盤を築いた時期を活写する貴重文献。



昭和20年代初めの日本経済は、まず財閥解体、農地改革、労働改革などの戦後経済改革が進められる一方で、敗戦後の極度の物資不足やインフレーションの進行により、国民生活は著しく疲弊していた。そこで、資材と資金を石炭と鉄鋼などの重要産業部門に集中する傾斜生産方式が採用され、復興金融金庫融資と価格調整補給金のもとで産業活動を軌道に乗せ、復興をめざした。ついで、経済安定9原則を打ち出した昭和24年に始まるドッジ・ラインのもとで、復興金融金庫の貸付は停止され、価格調整補給金も削減されて、日本経済は不況に直面する。しかし、昭和25年に勃発した朝鮮戦争のもとで、繊維と金属を中心とする特需景気で息を吹き返し、鉱工業生産が戦前の水準に回復した。昭和20年代後半には、基礎産業に国家資金が積極的に投入され、電力、造船、鉄鋼などの産業部門が設備投資を活発に進め、昭和30年に入ると、高度経済成長に突入する。

このように、昭和20年代のわが国の産業は、敗戦後の荒廃状態から曲折を経ながら復興を実現し、高度経済成長の基盤を築いていった時期である。産業レベルでも、企業活動レベルでも、その動向は興味深い。しかしながら、戦後の混乱の時期であったため、各産業の動向を示す統計その他の資料は、必ずしも体系的に整備されていない。したがって、この時期を対象とする研究の際には、データや資料不足から不便を感じる面も多かった。

そうしたなかで、通商産業省通商企業局が、ドッジ・ラインが実施された昭和24年以降、主要産業の動向を詳細に調査した報告書を作成していた。当初は『経済安定計画実施後の主要業種の実態』のタイトルで発表され、のちに『わが国主要産業の実態』と名称を変えて、昭和30年まで15回刊行された。最初に刊行された第一編では、石炭、コークス、電力、電気銅、鉄鋼、ソーダ、染料、化学肥料、炭鉱機械、電気機械工業、電気通信機械、自転車、自動車、軸受、綿紡、人絹糸、セメント、紙パルプ、時計、光学機械の20の産業部門がとりあげられ、それぞれにつき、需給の状況、価格補給金削減の影響、合理化の進展状況などが記述されている。その後、対象としてとりあげる産業には若干の出入りがあり、各産業に関する調査対象事項も、年次によって変わるが、狭い意味での生産の状況に限定せず、雇用の状況、産業金融の動向まで広くとりあげており、昭和20年代半ば以降の産業動向に関して、この調査報告書がカバーする範囲は広い。今回、復刊される本書は、昭和20年代のわが国の経済、産業、企業経営の研究にとって必須の基礎資料であり、図書館等においても欠かすことができないものである。

本書の特色

戦後復興期の主要産業データを詳細に記す

ドッジ・ラインが実施された昭和24年以降主要産業の動向を詳細に調査した報告書。

日本の約20業種を網羅

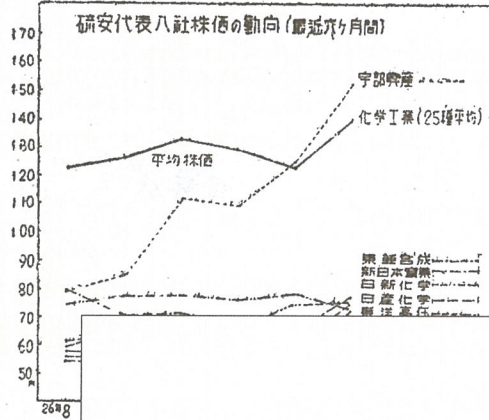
石炭、コークス、電力、電気銅、鉄鋼、ソーダ、染料、化学肥料、炭鉱機械、電気機械工業、電気通信機器など。

数少ない戦後復興期の産業別データ集

戦後混乱の時期のため、類似の統計はほとんど存在せず、極めて資料価値が高い。

広範囲の産業動向をカバー

生産の状況に限定せず、雇用の状況、産業金融の動向まで広くとりあげており、昭和20年代半ば以降の産業動向に関して、本報告書がカバーする範囲は広い。



行せられて来たものであり、これ業者の社債が今回Bランクに格下ことは、化学肥料工業にはAランないこととなるわけであつて、国家的意義から考えて大いに重視ならないであらう。

四、株価の動向

四、鉄鋼

一、生産状況

(一)概況

前期における国際市況の一時的な中だるみに加え、引き続き国内金融事情の逼迫と電力事情の悪化が重つて、第三・四半期の鉄鋼生産は大むね沈滞を免れなかつたものの後半、特に十二月に至つて幾分持直し、品種によつては戦後最高レベルたる本年六・七月のペースに近い実績を示す程度にまで回復をみたが、之は主として期末にかけて電力事情がやや好転したこと、輸出が再び活発化したこととに起因する。

(品種別生産実績については別表一、同第四・四半期並びに二六年度生産見通しについては別表二を参照)

(二)鉄鋼

1 高炉鉄
稼働設備の今期における異動は次の通りである。

(イ)新規稼働高炉

富士製鉄仲町No.2
(七〇〇吨)一〇月一日火入

原料	炭素材)	電力)
月別	(含水)	(
九月	五八〇	三、四六〇
十二月	五七五	三、七〇〇

第一表 二十六年度第三・四半期生産実績表 (単位屯)

区分	生産計画(A)	生産実績(B)	達成率(B/A)%
鉄鋼高炉鉄	八六、五〇〇	八五、五三三	九八・五
電気鉄	四〇、〇〇〇	三、三六八	五・七
その他鉄	三三、〇〇〇	二八、三三三	一三・〇
合計	一、四六、六〇〇	一、四六、八四四	九・五
鋼平炉鋼	一、四六、六〇〇	一、四六、八四四	九・五
転炉鋼	三、〇〇〇	四九、三〇〇	一六・五
合計	一、四六、六〇〇	一、四六、八四四	九・五
普通鋼々材	一、二〇〇、〇〇〇	一、一〇四、八〇七	九・〇
特殊鋼々材	二五、〇〇〇	四一、〇三六	一六・五
フエロ・アロイ	三〇、〇〇〇	三、三六八	一三・〇

第二表 鉄鋼生産計画と実績対比表 (単位屯)

区分	年間生産計画(A)	上半期実績	下半期実績	年間推定(B)	達成率(B/A)%
高炉鉄	三、一〇〇、〇〇〇	一、四七五、四三三	一、六二五、五三三	三、一〇〇、〇〇〇	九・五
電気鉄	一〇、〇〇〇	七、〇八三	三、三六八	一〇、〇〇〇	一三・〇
普通鋼々材	四、二〇〇、〇〇〇	二、一七五、七三三	二、〇二四、二六八	四、二〇〇、〇〇〇	九・〇
特殊鋼々材	二〇、〇〇〇	八、八二八	四、九九九	一三、八二七	六八・五
フエロ・アロイ	三〇、〇〇〇	三、三六八	三、三六八	六、七三六	二二・五

戦後復興期主要産業の実態

[監修] 中村青志 東京経済大学経営学部准教授 通商産業省通商企業局[編]

全14巻

● 揃定価 148,050円 (本体 141,000円) ISBN978-4-8433-2683-1 C3333 A5判上製 2007年9月刊行

全14巻の構成

- ◆ 第1巻 ◆ 戦後復興期主要産業の実態 昭和24年 1月～昭和25年 1月 ・ 定価9,450円 (本体9,000円) ISBN978-4-8433-2684-8
収録文献=通商産業省通商企業局・編『経済安定計画実施後の主要産業の実態』第1編/第2編(その1)/第2編(その2)
- ◆ 第2巻 ◆ 戦後復興期主要産業の実態 昭和25年 1月～昭和25年 4月 ・ 定価9,450円 (本体9,000円) ISBN978-4-8433-2685-5
収録文献=通商産業省通商企業局・編『経済安定計画実施後の主要産業の実態』第3編
- ◆ 第3巻 ◆ 戦後復興期主要産業の実態 昭和25年 4月～昭和25年 8月 ・ 定価12,600円 (本体12,000円) ISBN978-4-8433-2686-2
収録文献=通商産業省通商企業局・編『わが国主要産業の実態』第4編
- ◆ 第4巻 ◆ 戦後復興期主要産業の実態 昭和25年 7月～昭和25年11月 ・ 定価12,600円 (本体12,000円) ISBN978-4-8433-2687-9
収録文献=通商産業省通商企業局・編『わが国主要産業の実態』第5編
- ◆ 第5巻 ◆ 戦後復興期主要産業の実態 昭和25年10月～昭和26年 2月 ・ 定価12,600円 (本体12,000円) ISBN978-4-8433-2688-6
収録文献=通商産業省通商企業局・編『わが国主要産業の実態』第6編
- ◆ 第6巻 ◆ 戦後復興期主要産業の実態 昭和26年 4月～昭和26年 6月 ・ 定価12,600円 (本体12,000円) ISBN978-4-8433-2689-3
収録文献=通商産業省通商企業局・編『わが国主要産業の実態』第7編
- ◆ 第7巻 ◆ 戦後復興期主要産業の実態 昭和26年 7月～昭和26年 9月 ・ 定価12,600円 (本体12,000円) ISBN978-4-8433-2690-9
収録文献=通商産業省通商企業局・編『わが国主要産業の実態』第8編
- ◆ 第8巻 ◆ 戦後復興期主要産業の実態 昭和26年10月～昭和27年 1月 ・ 定価12,600円 (本体12,000円) ISBN978-4-8433-2691-6
収録文献=通商産業省通商企業局・編『わが国主要産業の実態』第9編
- ◆ 第9巻 ◆ 戦後復興期主要産業の実態 昭和27年 1月～昭和27年 3月 ・ 定価10,500円 (本体10,000円) ISBN978-4-8433-2692-3
収録文献=通商産業省通商企業局・編『わが国主要産業の実態』第10編
- ◆ 第10巻 ◆ 戦後復興期主要産業の実態 昭和27年 7月～昭和27年 9月 ・ 定価7,350円 (本体7,000円) ISBN978-4-8433-2693-0
収録文献=通商産業省通商企業局・編『わが国主要産業の実態』第11編
- ◆ 第11巻 ◆ 戦後復興期主要産業の実態 昭和27年10月～昭和28年 3月 ・ 定価6,300円 (本体6,000円) ISBN978-4-8433-2694-7
収録文献=通商産業省通商企業局・編『主要産業の実態』第12編
- ◆ 第12巻 ◆ 戦後復興期主要産業の実態 昭和28年 4月～昭和28年 9月 ・ 定価9,450円 (本体9,000円) ISBN978-4-8433-2695-4
収録文献=通商産業省通商企業局・編『主要産業の実態』第13編
- ◆ 第13巻 ◆ 戦後復興期主要産業の実態 昭和28年10月～昭和29年 3月 ・ 定価9,450円 (本体9,000円) ISBN978-4-8433-2696-1
収録文献=通商産業省通商企業局・編『主要産業の実態』第14編
- ◆ 第14巻 ◆ 戦後復興期主要産業の実態 昭和29年 4月～昭和29年 9月 ・ 定価10,500円 (本体10,000円) ISBN978-4-8433-2697-8
収録文献=通商産業省通商企業局・編『主要産業の実態』第15編

関連企画

戦前期本邦事業成績分析

[監修] 中村青志 全7巻 ● 揃定価: 本体166,300円+税

産業別「会社年表」総覧

[編集協力] 神奈川県立川崎図書館 全40巻 ● 揃定価: 本体620,000円+税

底本発行、財団法人三菱経済研究所昭和3年～18年まで、約400社の決算データを網羅した、わが国初の体系的かつ継続的な経営分析データ集。日本の大企業のあゆみを財務的側面から長期的に示す基本資料。

第一次産業から第三次産業まで明治以降の日本の産業の「会社年表」を収録。日本の産業を担ってきた製糸・紡績・鉄鋼から戦後の電気・自動車、そして現在のバイオ科学・IT産業まで、様々な分野の産業を網羅。



〒101-0047
東京都千代田区内神田2-7-6
TEL.03 (5296) 0491
FAX.03 (5296) 0493
<http://www.yumani.co.jp/>
e-mail eigyou@yumani.co.jp

● 特におすすめしたい方
日本近代経済史・経営史・政治史・社会史・文化史などの研究者および研究機関、企業の資料室、大学・公共図書館など。

ゆまに書房 Tel.03 (5296) 0491/Fax.03 (5296) 0493 年 月 日		※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。	
ご注文書	戦後復興期主要産業の実態 全14巻 ● 揃定価 148,050円 (本体 141,000円) ISBN978-4-8433-2683-1		取扱店
	セツト		
お名前			
住所	TEL ()		07.07/01.7000.H